

作者プロフィール

柚木 文夫氏

千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

石割山・杓子山－富士山観望の遊歩道－

2月中旬、石割山(1413 ㍍)・杓子山(1598 ㍍)に出かけた。山中湖北縁の山々を尾根歩きしながら終日、冬富士を観望しようとの算段である。10時10分、新宿からの高速バスを山中湖畔の平野部落で下車。快晴。雪がほとんど無いのが拍子抜けである。

舗装された道をテクテク歩いて10時45分、石割山登山口の赤い鳥居。ここから長い長い石段を息を切らして登る。後はブナ林の中の緩い尾根道登り。振り返ると半ば凍った山中湖と左半分雲をまとった富士山がなかなかの風情である。

11時25分石割神社。大きく斜めに割れたシメ縄飾りの大岩が鎮座まします。



11時45分石割山頂上。光

り輝く富士山の威容が圧倒的であった。山頂広場の積雪約10㍍。弁当



石割山からの富士山

息を楽しんだ。

12時20分、重い腰を上げて出発。さすがに杓子山方向に向かうの

は私一人である。



石割山からの杓子山・鹿留山

りが緩やかで少々の積雪も気にならない。二十曲峠、加瀬山、立ノ塚峠と過ぎ、傾斜が漸く急になって岩場の登りを4回程こなし、14時15分子ノ神の三叉路に出た。ここにザックをデポし、鹿留山(1632 ㍍)を往復。鹿留山頂は雪に埋もれたブナ林が静かなたたずまいだった。

14時55分杓子山頂。ベンチが整備されており、忍野の部落が箱庭のように見下ろせる。山頂からジグザグ道を急降下したところが大権道峠。先を急ぎ、雑木の中の尾根を無念無想で登り、露岩のピークをいくつか越え、15時50分小広い高座山頂に出た。もう夕日が富士山の右肩に近い。

冬の日の落ちるのは早い。日没に急ぎたてられ鳥居地峠経由でひたすら下り、予約した忍野の民宿によ



忍野からの高座山・杓子山

葉が落ちて明るい雑木林の中の尾根歩きが延々と続く。上り下

やく到着したのは、日もとっぷり暮れた17時だった。